

## 【令和3年度大崎市地域自治組織活性化事業交付金の採択事業一覧】

### 1 採択結果(第1回目)

【チャレンジ事業交付金】 令和3年9月25日第2回審査会・大崎市役所本庁舎北会議室1階北側及び2階

審査順	申請団体名	事業名	交付申請額
1	岩出山地域づくり委員会	岩出山の本「岩出山いっぽ」製作プロジェクト	947,000円
合		計	947,000円

### 2 採択結果(第2回目)

【ステップアップ事業交付金】 令和4年3月13日第3回審査会・大崎市役所東庁舎5階大会議室

審査順	申請団体名	事業名	交付申請額
1	鳴子まちづくり協議会	【鳴子じかん～鳴子で暮らすいろいろなカタチ～】Uターン・Iターン者インタビュー冊子作成	200,000円
合		計	200,000円

### 3 採択事業の詳細

No. 1	団体名：岩出山地域づくり委員会	代表者：石田 政博
	事業名称：岩出山の本「岩出山いっぽ」製作プロジェクト	
	<p>少子高齢化が加速する中、持続可能な地域づくりを、大崎市の「地域自治体制整備実証事業」を活用し推進して参りました。結果、課題や困り事が出来た時に、委員会が相談役となることで「情報の拠点づくり」が進み、地域に浸透し始めた実感しています。そこで最終年度に「大崎市の話し合う協働のまちづくり条例」に沿った形で「岩出山の本を創り上げる」事業に辿り着きました。よって、この「岩出山の本」を過去・現在を知って、また未来へ繋ぐ光の架け橋とします。</p>	

No. 2	団体名：鳴子まちづくり協議会	代表者：高橋 鉄夫
	事業名称：【鳴子じかん～鳴子で暮らすいろいろなカタチ～】Uターン・Iターン者インタビュー冊子作成	
	<p>鳴子地域では主要産業が低迷し現役世代の地域外流出が続いている中、逆にUターン、Iターンで住み始める人達がいる。彼らが鳴子に何を見出し、どんな暮らしをしているかインタビューしたところ、それぞれの形で鳴子の暮らしを楽しみ地域を支えている事がわかった。鳴子地域全住民が鳴子の将来を担う彼らの暮らしを知り鳴子に希望がある事に気づき、更にU・Iターンに拘らず鳴子に暮らす現役世代の活躍に期待を持ち地域活性化を意識付けるため冊子を発行する。</p>	